

NPO 法人才の木トークカフェ

放射性物質汚染地域の 森林・林業はどうなるのか？

現在の放射性物質汚染地域の主要な問題点は、木材利用上の障害となる高放射性セシウム濃度の樹皮の処理方法、広い範囲で安全基準値を超えているきのこ栽培用原木の問題、放射性セシウムを集積する一部の野生きのこ・山菜生産、これに加えて、地域自治体や住民の要望として森林除染等、多岐にわたっています。今回のトークカフェでは、汚染地域の現状を正しく理解した上で問題点を整理し、その対策について、実証事業による実例等を紹介し、地域復興・林業再生に向けた議論をおこないます。

日時：平成 28年 6月 11日(土)
14:30 ~ 17:30 (受付 14:00)

場所：東京大学弥生講堂アネックス
(東京メトロ南北線 東大前駅 下車 徒歩 1分)

主催：NPO 法人才の木
共催：一般社団法人日本木材学会
会費：無料 *どなたでも参加できます。

参加方法：氏名、連絡先(勤務先)を明記の上、NPO 法人才の木まで
電子メールにてご連絡下さい。(info@sainoki.org)

開会挨拶 NPO 法人才の木理事長、日本木材学会副会長 福島和彦

話題提供者

才の木・理事、森林総合研究所研究情報科長 高野 勉氏
「放射能による森林汚染の現状と林業・林産業再生への課題」

宇都宮大学農学部 教授 飯塚和也氏
「宇都宮大学演習林における取り組み—調査研究と林業作業・学生実習」

資料提供

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 田野井慶太郎氏
「しいたけ原木生産再開に向けた取り組みと消費者動向」

東京農業大学地球環境科学部 教授 江口文陽氏
「風評被害を回避するきのこ高付加価値への挑戦」

司会 NPO 法人才の木理事長、
日本木材学会副会長 福島和彦

タイムスケジュール
14:30 ~ 16:10 話題提供
休憩
16:20 ~ 17:30 トーク